

調査ニュース

今月の注目点

2021年の道内経済回顧

2021年の道内経済を振り返ると、2度の緊急事態宣言発出をはじめ、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の制約が前年から続き、総じて厳しい1年となりました。その一方で、「縄文遺跡群の世界遺産登録」といった明るいニュースもみられました。また、東京五輪の一部種目開催に加えて、観光・エネルギーなど成長期待分野における取り組みが、着実に進展した1年となりました（網掛け部分についてP 6～7に関連記事あり）。

2021年道内経済の主な出来事

月	主な出来事
1月	「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が盛り込まれた国の20年度第3次補正予算成立
2月	室蘭工業大学と大阪府立大学が共同開発した超小型人工衛星「ひろがり」の打ち上げ成功 さっぽろ雪まつり史上初の中止、オンライン開催へ
3月	札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）が開業10周年 北海道新幹線が開業5周年
4月	高齢者向け新型コロナワクチンの接種を開始
5月	新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い、道内に緊急事態宣言を発出（5/16～6/20）
6月	札幌ドームが開業20周年 北海道が脱炭素化に向けて「ゼロカーボン北海道推進協議会」を設立
7月	東京五輪の一部競技（サッカー、マラソン、競歩）が札幌市で開催（～8月） ウボボイ（民族共生象徴空間）が開業1周年 「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産登録 2020年度ふるさと納税寄付額、北海道が2年連続全国一（総務省発表）
8月	日本製紙釧路工場での紙パルプ生産が終了 道内に緊急事態宣言を再発出（8/27～9/30）
9月	北海道胆振東部地震から3年 体験型観光サミット「アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット（ATWS）」が開催 道東の太平洋沿岸を中心に赤潮に伴う漁業被害が広がる
10月	JR石勝線（南千歳～新得）が開通40周年 リスト・ベンジャミン北大特任教授がノーベル化学賞を受賞
11月	北海道は約1年ぶりにコロナ対策の警戒ステージを1へ引き下げ（飲食店への時短要請等を解除） さっぽろ地下街が開業50周年 北海道日本ハムファイターズの監督に新庄剛志氏が就任

（注） 2021年11月26日時点で作成。

（出所） 各種報道資料などを基に道銀地域総合研究所作成

最近の道内経済動向	2
道内ユニーク企業紹介 シリーズ®	3
● デザイン制作・出版を通じて国内外に感動を発信する ～有限会社エアーダイブ（札幌市）～	
トピックス	6
● 2021年「道内経済の注目点」を振り返る	
フォーカス	8
● 開業50周年を迎えた札幌の地下鉄・地下街	

北海道の新たな時代へ 70年の思いとともに



最近の道内経済動向

- 道内景気は、新型コロナウイルスの影響を主因に依然として厳しい状況にあり、弱い動きが続いている。
- 先行きは、ワクチン接種が進展し厳しい感染拡大防止措置が避けられる下、次第に持ち直しに向かうと予想する。

(注) 基調判断は、2021. 11. 22時点で入手可能な主要経済指標を参考とした(9~10月実績が中心)。

●個人消費は弱い動きがみられる

9月の主要6業態別小売店販売額(全店)をみると、感染拡大防止措置の強化を受けた人流の減少等から、百貨店やコンビニエンスストア、家電大型専門店が前年を下回った。また、自動車の減産の影響などから9月の乗用車新車販売台数(軽含む)は、大幅に減少した。一方、足元では緊急事態宣言の解除等を受けて、人流や消費マインドが回復傾向にあるなど明るい兆しもみられている。

(注) 主要6業態とは、百貨店、スーパー、コンビニエンスストア、家電大型専門店、ドラッグストア、及びホームセンターを指す。

●観光は低迷している

外国人入国者数(10月)は、前年と同じくゼロの実績。一方、10月の来道者数(国内交通機関経由)は、前年比▲7.9%と2ヵ月連続で減少し、19年比(▲46.1%)でみても低水準にとどまる。一方、足元では緊急事態宣言の解除などを受けて、国内客の人流が上向きに転じるなど明るい兆しもみられている。

(注) 外国人入国者数とは、道内で入国手続きした外国人数。来道者数とは、国内路線(航空、JR、フェリー)利用による旅客数(国内客と道外で入国手続きした外国人客)を指す。

●設備投資は底入れしている、公共工事は弱い動きがみられる、住宅建築は緩やかに持ち直している

日本銀行札幌支店の9月の企業短期経済観測調査(北海道)によると、21年度の設備投資計画(電気・ガスを除く全産業、含むソフトウェア・研究開発、除く土地)は、前年比+7.4%となった(6月調査比修正率▲1.0%)。19年度をピークに製造業では減少傾向が続くものの、大型物流センター新設など競争力強化向け投資等が増加している非製造業が全体を下支えしている。公共工事請負金額(10月)は、前年比▲14.8%(369億円)と4ヵ月連続で前年を下回った。また、既発注分を含めた出来高ベースでは減少傾向で推移するなど、弱い動きとなっている。新設住宅着工戸数(9月)は、前年比+19.3%と2ヵ月ぶりに増加した。利用関係別にみると、分譲戸建て住宅が7ヵ月ぶりに減少したものの、持家や貸家、分譲マンションが増加し、全体を押し上げた。

●生産は持ち直し傾向が一服している

鉱工業生産(9月)は、前月比▲3.1%と2ヵ月連続で低下した。部品供給不足等による自動車メーカーの減産などの影響から、輸送機械や電気機械などが低下した。

●輸出は緩やかに持ち直している

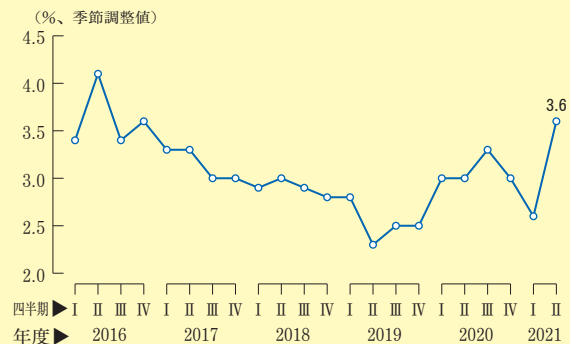
10月の通関輸出額(速報値)は、前年比+46.6%(320億円)と8ヵ月連続で前年を上回った。品目別では、中国向け「石油製品」や「魚介類・同調製品」などが増加し、全体を押し上げた。

●雇用情勢は弱い動きがみられる

9月の有効求人倍率(パート含む常用)は、0.98倍(前年差0.03ポイント上昇)となった。飲食業や観光関連産業を中心に弱い動きが続いているものの、政府による各種支援策による下支えの下、過度な労働需給の悪化は避けられている。

道内完全失業率の推移

2021年7-9月期における道内完全失業率(季節調整値)は、3.6%と前期から1.0%ポイント悪化し、17年1-3月期以来の水準まで上昇した。21年7-9月期の失業率の悪化には、就業者数の減少(季節調整値、前期比▲1.1%)が大きく寄与しているとみられる。就業者数は、2四半期連続で前期から減少しており、今後の動向には注意が必要である。



(注) 失業率=失業者数/(失業者数+就業者数)
(出所) 総務省「労働力調査」を基に道銀地域総合研究所作成

デザイン制作・出版を通じて国内外に感動を発信する ～ 有限会社エアードライブ（札幌市）～

世界に誇る日本文化の一つ・“漫画”。首都圏にその出版社が集中する中、道内で唯一、漫画出版を手掛けているのが有限会社エアードライブ（以下、同社）です。今回は、高付加価値の提案でデザイン制作に取り組むとともに、独自のビジネスモデルによる出版事業を通じて国内外に感動を発信する同社を紹介します。

【経営のポイント】

- 高付加価値の提案（デザイン力＋WEBスキル）
- 独自のビジネスモデル（ワンストップ）
- 既成概念にとらわれない発想
- 感動の創造・発信
- 持続可能な仕組みの構築

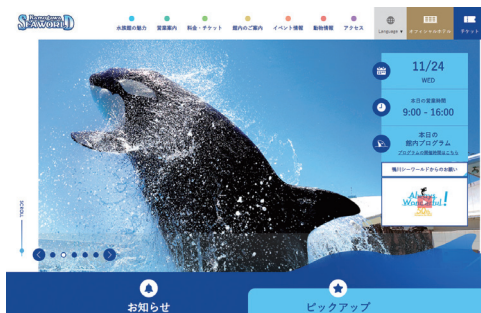
“デザイン力＋WEBスキル”が強み

同社は2006年、田中社長が33歳で起業・設立。“デザイン制作”“出版”を2本柱として事業を展開しています。

“デザイン制作部門（売上構成比：約6割）”ではWEB・紙の両媒体を扱い、WEBサイトの構築・サポート（ホームページデザイン、通販サイト構築等）、広告・宣伝、各種パンフレット、ブランディング支援などを幅広く手掛けています。

同社の強みは、デザイン力の高さに加えて、WEBシステムにも精通している点。WEBサイト構築に際しては、より使い勝手に優れた仕様となるようアプリケーション開発も自社内で行うなど、迅速かつ付加価値の高い提案ができる態勢を確立しています。顧客の業種が、自治体、テーマパーク、幼稚園、通販サイト運営事業者などと多岐にわたることに加え、その分布が道外に広がっていることから、同社の仕事ぶりに対する評価・信頼の高さが窺えます（写真1）。

（写真1）受託制作したホームページ例



（千葉県・鴨川シーワールド様）

ワンストップ体制による出版事業

一方、“出版部門（売上構成比：約4割）”では、漫画本、絵本、グルメ情報誌などを扱っており、漫画の出版社としては同社が道内唯一です。また、出版物は一部を除き、企画から制作・編集・出版・流通・営業までをワンストップで行うなど業界の常識にとらわれず、柔軟で小回りの利く対応が可能な独自のビジネスモデルを構築。さらに、個々の企画コンセプトでは、北海道および地元ならではの視点を大切にしている点が大きな特徴です。

漫画「義男の空」に全国から大きな反響

出版物の代表作が、ドキュメンタリー漫画「義男の空」（2008年発刊。2019年の第12巻で完結）。道内に実在する小児脳神経外科医師（高橋義男氏。以下、義男医師）の半生とともに患者・家族の日々の葛藤がリアルに、かつ患者目線で描かれています（写真2）。

一般的な娯楽漫画とは一線を画し、教育的価値も備えたその内容は、各方面から大きな

（写真2）ドキュメンタリー漫画「義男の空」



（全12巻）

関心を集め、また、高く評価されています。全国向けのテレビ番組（2010年：フジテレビ系列「奇跡体験！アンビリバボー」、2020年：NHK総合「逆転人生」）で紹介されたほか、「第15回文化庁メディア芸術祭（2011年）マンガ部門」では審査委員会推薦作品に入選。また、北海道書店組合・北海道学校図書館協会の推薦図書にも指定され、蔵書する学校数は道内外の約1,250校に上っています。現在、取り扱い書店数は全国で約700店に上り、完結巻発刊後も大きな反響が続いています。さらに、国内にとどまらず、海外向けとして韓国語翻訳版も出版されています（写真3）。

地元根差した視点を重視

出版物のコンセプトとして大切にしているのが、地域に根差した独自の視点です。

北海道・札幌の礎を築いた開拓判官の物語（歴史漫画）「島義勇伝」^{しまよしたけ}（2014年発刊）は、綿密な資料調査をもとに史実を踏まえて描かれています（写真4）。東日本大震災（2011年3月）後の復興と主人公の行動を重ね合わせて企画されました。北海道庁タイアップ作品、札幌市および北海道学校図書館協会の推薦図書になっているほか、主人公が佐賀藩出身であることから、佐賀県庁、佐賀市役所・同市教育委員会の推薦図書にもなっており、学校の歴史教育向けとしても広く活用されています。

得意の漫画表現を活かして高い訴求効果

このほか、得意とする漫画表現に高い訴求効果が見込まれることに着目し、漫画を活用した出版物の取り扱いにも力を入れています。例えば、同社の高いITスキルが発揮されている“システム設計を漫画と図解で解説する学習教材（野村総合研究所との共著）”のほか、“札幌の観光施設や飲食店などを紹介した漫画情報誌（企画・編集を担当）”“建設業のPR漫画冊子（漫画・制作を担当）”など多岐にわたります（写真5）。

さらに、2010年にワンストップで自社出版した絵本「サンタクロース島のサンタクロース」は、シリーズ第3弾まで発刊（写真6）。

（写真3）「義男の空」の第10巻と韓国語版



（写真4）北海道開拓物語「島義勇伝」



（写真5）漫画を活用した出版物



（写真6）絵本「サンタクロース島のサンタクロース」シリーズ



（写真1～6は全て同社提供）

現在もクリスマスシーズンに向けて、高い人気を維持しています。また、そのうちの2冊は2013年にフランス語で翻訳され、海外向けにも発信されています（クリスマスの本場・欧州で日本のクリスマス絵本が翻訳されたのは22年ぶり）。

漫画関連事業に秘められた強い想い

漫画をビジネスの重要なツールにしている会社ですが、そこに至った大きなきっかけがあります。

子供の頃から漫画を描くのが得意だった田中社長。プロの漫画家になる夢をあきらめきれず、実は、24歳の時にその登竜門とも言われる「ちばてつや賞」（講談社主催）で準大賞を受賞したこともある実力の持ち主です。しかし、プロを生業に生計をたてていくことの厳しさを実感し断念。その後、WEBやCMの制作に従事する間、生後1ヵ月の次男に脳の病気が判明した際にその命を救ってくれたのが、義男医師（「義男の空」のモデル）だったのです。何かお役に立てないかと考えていた時に義男医師から特技を聞かれ、「漫画を描くこと」と答えたところ、「患者・家族との交流会報誌に4コマ漫画を描いてくれないか」と頼まれます。田中社長は「漫画は自分の特技であり、人の力にもなりうる」ことを再認識。高度な医療技術のみならず、患者・家族の精神的サポートにも献身的な姿に感銘を受けていたことから「義男医師の存在や患者・家族が日々葛藤する姿を広く知ってもらいたい」「全国的に足りない小児専門脳外科医を目指す若者が増えてほしい」といった想いや願いを漫画に込めて発信しよう、と意を強くします。ちょうどその頃、サラリーマン生活で蓄積してきたデザインやITスキルを生かして起業しようと考えていたことも背中を押し、2006年に会社を設立。デザイン部門を収益基盤にしつつ、想いの実現を見据えて漫画関連ビジネスも手掛けることにしたのです。会社設立から「義男の空」出版に至るまでの約2年間は苦労の連続。当初は大手出版社を介した出版を考えていたものの、話がうまく進みませんでした。結局、そうした

障壁を乗り越えるために全て自社でやらなければならなかったことが様々なノウハウの蓄積につながり、今では独自のビジネスモデル（ワンストップ体制）として、同社出版業務における強みになっています。

持続可能な漫画出版を目指す

「義男の空」や「島義勇伝」の表紙や広告等を見ると、作者名は個人名ではなく「エアードライブ（会社名）」になっていることに気づきます。

実は、会社が“ワンストップ”で出版する漫画の原画作成は“皆で創る体制”で行い、社長とスタッフが共同で作業しています。田中社長は自身の経験から、次代を担う若者に対しても、大好きな漫画創作をあきらめることなく安定した生活を確保できる方法・場づくりを模索。導き出したのがこの形でした。漫画の著作権は作家個人に帰属するのが通常ですが、漫画創作に情熱を持つ社員に安心して働く場を提供し、かつ、ビジネスとして安定的・持続的に出版を続けていく方法として、著作権を会社に帰属させているのです。

「義男の空」を実写化し、漫画に込めた想いや感動をさらに多くの人に届けたい（田中社長）」と新たな展開も構想する会社。既存概念にとらわれない発想で、地方における漫画出版のハンデを克服してきた実績を土台に、今後も北海道から国内外に向けて、日本の漫画文化・感動を発信し続けてくれることでしょう。

（黒瀧 隆司）

【会社概要】

本 社 札幌市中央区南8条西4丁目422番地5
グランドパークビル3F
☎：011-533-3216 FAX：011-533-3215
設 立 2006年3月
代 表 者 田中 宏明
資 本 金 300万円
従 業 員 数 8人（2021年11月末現在）
事 業 内 容 出版、デザイン（WEB、紙）
U R L <http://www.air-dive.com/>
U R L <http://www.dybooks.jp/>

2021年「道内経済の注目点」を振り返る

本稿では、2021年道内経済の主な出来事（表紙ページの図表参照）からピックアップした5つの注目点を紹介します。注目点の内容を紐解きながら、今後の道内経済の活性化に向けた糸口を探っていきます。
(2021. 11. 26 伊藤 慎時)

注目点① 宇宙産業における取り組みの進展 ～小型衛星の打ち上げ等に成功！～【2月～】

2021年は、宇宙産業における取り組みの進展がみられる1年でした。室蘭工業大学が中心となり、2月に超小型人工衛星「ひろがり」の打ち上げ、7月には次世代型エンジンの飛行実験に成功。これらの実績に対して、国内外からの注目が集まりました。9月に同大では、ロケット開発の産学連携拠点を開設。大樹町のインターステラテクノロジズ（株）と2023年度の打ち上げに向け、人工衛星搭載用ロケット「ZERO」の開発を本格化させています。

11月には「北海道宇宙サミット2021」が開催。射場やロケット関連企業を中心とした企業集積の可能性等について活発に議論され、本道における宇宙産業の育成に向けて、関係者の機運が高まる機会となりました。

今後は、ロケット等の技術開発に加えて、衛星データの活用をはじめとする宇宙産業におけるビジネスモデルの構築に向けた動きも一層本格化するでしょう。2022年も産学官が一体となった宇宙産業における取り組み進展が期待されます。

2021年道内宇宙産業の動向

時期	概要
2月	超小型人工衛星「ひろがり」を搭載した民間ロケットの打ち上げ成功（室蘭工大、大阪府大）、国際宇宙ステーション（ISS）へ到達
3月	ISSから「ひろがり」を宇宙空間へ放出、宇宙での太陽光発電を目指した実証実験を開始
7月	次世代型「デトネーションエンジン」の飛行実験に成功（室蘭工大、名古屋大等）
9月	室蘭工大に「宇宙プロジェクト共創ラボラトリー」開設（ロケット開発の産学連携拠点）
11月	大樹町等で「北海道宇宙サミット2021」開催、約700名が参加（オンライン含む） 苫小牧高等専修学校等10校が共同開発した超小型衛星「KOSEN-1」の打ち上げ成功

（出所）各種報道資料などを基に、道銀地域総合研究所作成



注目点② 「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産登録へ ～道内初の世界文化遺産誕生～【7月】

7月27日、ユネスコにて「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産への登録が決定。長年に及ぶ関係者による保全や活用に向けた活動の積み重ねが、結実しました。

遺跡群は、農耕以前の人々の生活や精神文化を現代に伝える貴重な文化遺産です。具体的には北海道・青森県・岩手県・秋田県に所在する17の遺跡で構成されています（道内は6カ所）。

世界遺産への登録を受けて、各遺跡の所在地域では、世界遺産としての価値をどのように発信していくのか、地域のブランド価値向上に向けた取り組みに関する議論が本格化しつつあります。

10月22日の北海道・北東北知事サミットにて、4道県の知事は、縄文遺跡群を地域づくり等で連携・活用していくことで合意しました。今後、各地での受け入れ体制の整備に加えて、点在している各遺跡間における連携の強化に向けた動きが、一層進展すると予想されます。

北海道・北東北の縄文遺跡群（北海道関連分）



入江式土器



発掘調査風景（大船遺跡）



（写真出所）JOMON ARCHIVES（千歳市・洞爺湖町・函館市の各教育委員会、縄文遺跡群世界遺産保存活用協議会撮影）

注目点③ 体験型観光サミット「ATWS」開催～アドベンチャーツーリズムの聖地へ向けて～【9月】

9月20～24日、体験型観光の国際サミット「アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット（ATWS）」が北海道を舞台に開催されました。

新型コロナの感染拡大に伴い、オンライン開催となりましたが、58ヵ国、延べ617名のメディア関係者、旅行事業者等が参加。「共生（自然との調和）」をテーマに、阿寒摩周国立公園等の道内各地の紹介動画が配信され、本道の観光資源が世界へPRされました。

また、2023年秋のサミット開催地に北海道が内定。アドベンチャートラベルは長期滞在をする旅行者が多く、観光消費額も大きいという特徴があります。今後、アフターコロナに向けた、体験型観光を一層推進していくための体制整備が官民一体となって進展していくことが期待されます。

ATWSの開催実績・予定

開催年	開催地	開催年	開催地
2005	シアトル（米国）	2015	プエルトバラス（チリ）
2006		2016	アンカレッジ（アラスカ）
2007	ウィスラー（カナダ）	2017	サルタ（アルゼンチン）
2008	サンパウロ（ブラジル）	2018	トスカーナ（イタリア）
	ベルゲン他（ノルウェー）		
2009	ケベック（カナダ）	2019	ヨーテボリ（スウェーデン）
2010	アビモア（スコットランド）	2020	中止
2011	チアパス（メキシコ）	2021	北海道（日本）オンライン開催 ※アジア地域での初開催
2012	ルツェルン（スイス）		
2013	スワコプムント（ナミビア）	2022	ルガーノ（スイス）
2014	キラニー（アイルランド）	2023	北海道（日本）

（出所）観光庁資料などを基に、道銀地域総合研究所作成

注目点④ 道東の太平洋沿岸を中心に広がる赤潮被害【9月～】

9月下旬、道東の太平洋岸で赤潮を原因とするウニやサケの大量死が確認され、約2ヵ月が経過。赤潮とはプランクトンの異常発生等により、海水が変色する現象であり、呼吸困難になった魚介類が大量死する等の被害が発生します。

10月以降も漁業被害は広がり、サケ、ウニを中心に、被害額が約80億円と見込まれており、国内における赤潮の被害額としては過去最大となりました。

11月は翌年以降に向けたウニの種苗放流の時期であるものの、延期・手控えの動きがみられます。赤潮被害に対する十分な支援策の実施に加えて、事態の早期終息が望まれます。

赤潮に伴う漁業被害（単位：百万円）

振興局別	魚種	金額
根室管内	サケ	—
	ウニ	2,323
釧路管内	サケ	22
	ウニ	3,831
十勝管内	サケ	41
	ウニ	230
日高管内	サケ	11
	ウニ	803
計	サケ	74
	ウニ	7,187
	その他（ブリ、ツブ、タコ等）	748
全道計		8,010

（注1）被害状況は聞き取りによるものであり、今後変動する可能性がある。
（注2）上記以外にツブ・タコ等で複数年に及ぶ被害が見込まれている（最大90億円程度）。
（出所）北海道「太平洋海域における漁業被害の概況（令和3年11月19日現在）」

注目点⑤ 交通インフラを中心に相次ぐ「周年記念」【通年】

2021年は交通インフラを中心に、相次いで「周年記念」を迎える1年となりました。

道東自動車道の直結（10周年）は、観光面や物流面の輸送時間短縮等に大きく貢献。2016年夏の豪雨災害時には国道の代替路としての役割も果たしました。札幌市営地下鉄・さっぽろ地下街（50周年）は、札幌冬季オリンピックに合わせ、整備が進められました（P8参照）。90周年以降には、道東の鉄道路線の開業等が続きます。

道内経済を支える交通インフラ等が今後も利用者にとって、持続的であり、利便性の向上に資する役割の発揮が期待されます。

「周年」記念を迎える交通インフラ等

周年	開業年	概要
5	2016	北海道新幹線開業（新青森～新函館北斗）
10	2011	札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）開業
		道東自動車道の直結（夕張～占冠開通）
20	2001	札幌ドーム開業
40	1981	JR石勝線開通
50	1971	道内初の高速道路（道央道：千歳～北広島、札幌道：小樽～札幌西）開通
		札幌市営地下鉄・さっぽろ地下街開業
90	1931	JR釧網線全通
100	1921	JR花咲線全通・根室駅開業
110	1911	北見駅開業
120	1901	釧路駅開業・JR釧路～白糠開通

（出所）各種報道資料などを基に、道銀地域総合研究所作成

開業50周年を迎えた札幌の地下鉄・地下街

この11月と12月に揃って開業50周年を迎えた「札幌市営地下鉄」と「さっぽろ地下街」。これまで、積雪寒冷都市・札幌の経済発展、まちづくり、住民の暮らしに大きく貢献してきました。

不可欠なインフラとして毎日62万人が利用

札幌市の地下鉄整備計画は、郊外の人口増加や都心部の渋滞解消に対応する高速軌道の必要性が議論される中で1960年代半ばに浮上。札幌冬季オリンピック（1972年2月）の開催決定を受けて一気に具体化し、1971年12月16日に南北線が開業しました。以降、東西線、東豊線が整備され、市内の人口拡大軌道に沿う形で輸送人員（利用者数）が増加。降雪期の定時運行も大きな利点となり現在では、1日平均の輸送人員が3路線合計で62万人に上るなど、市民にとって不可欠な交通インフラとなっています（図表1、2）。

中心市街地の地下空間に賑わい創出

一方、地下鉄南北線工事と並行して整備が進められた「さっぽろ地下街」は、地下鉄開業のちょうど1ヵ月前（1971年11月16日）にオープン。大通駅を起点に、「オーロラタウン」（さっぽろテレビ塔までの312m）と「ポールタウン」（すすきの駅までの400m）をL字型に配置。ファッション・飲食など合わせて135店舗（2021年11月末現在）が公共通路の両側に並び、札幌都心部の地下商店街として、天候に左右されことなく市民・観光客で賑わっています。

札幌冬季オリンピックの開催から半世紀。新たなまちづくりが進みつつある中で今後も、地下空間の有効活用・整備がさらなる経済の発展・中心部の賑わい創出につながっていくことが期待されます。
(黒瀧 隆司)

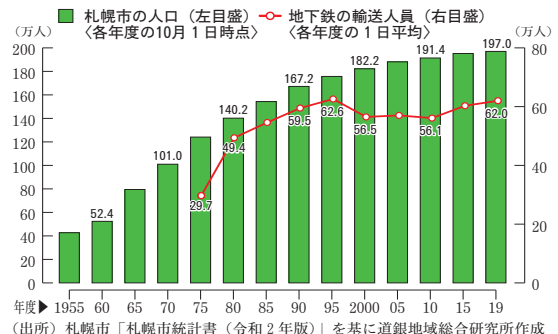
図表1 「札幌市営地下鉄」の整備年表

西暦年	月	整備概要
1971	11	(参考)「さっぽろ地下街」オープン
	12	南北線開業(北24条～真駒内)
1976	6	東西線開業(琴似～白石)
1978	3	南北線延長部開業(麻生～北24条)
1982	3	東西線延長部開業(白石～新さっぽろ)
1988	12	東豊線開業(栄町～豊水すすきの)
1994	10	東豊線延長部開業(豊水すすきの～福住)
1999	2	東西線延長部開業(宮の沢～琴似)

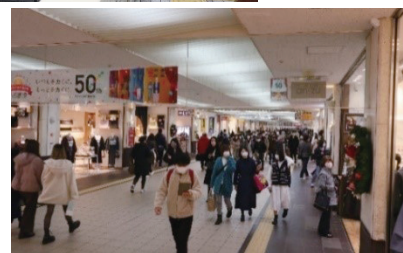
【参考】1日平均の輸送人員(2019年度)
・南北線: 230,692人 ・東西線: 239,038人 ・東豊線: 150,241人

(出所) 札幌市ホームページ(「地下鉄(高速電車)の概要」「札幌の都市交通データ」)等を基に道銀地域総合研究所作成

図表2 札幌市の人口と地下鉄輸送人員の推移



↓ 札幌市営地下鉄(南北線・大通駅ホーム)



↑ さっぽろ地下街(ポールタウン)

(どちらも2021年11月筆者撮影)

調査ニュース(2021・12) NO.440

発行 株式会社 北海道銀行(ウェブサイト <https://www.hokkaidobank.co.jp>)

企画・編集 株式会社 道銀地域総合研究所 経済調査部(照会先:伊藤慎)

〒060-8676 札幌市中央区大通西4丁目1番地 道銀別館ビル

TEL(011)233-3562 FAX(011)207-5220

〈本誌の無断転用、転載を禁じます〉